

会 議 録

会議の名称	第1回 阪南市外部評価委員会
開催日時	平成28年6月20日（月） 午後6時30分～午後8時10分
開催場所	阪南市役所3階全員協議会室
出席者	<p>【委員】 壬生委員長、掛谷副委員長、奥野委員、高橋委員</p> <p>【事務局等職員】 岩本参与（兼）総務部長、井上副理事（兼）室長、布施室長代理、高倉主幹、太田総括主事、新垣主事</p>
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 委員の紹介 3. 委員長、副委員長の選出 4. 市長から委員会への諮問 5. 外部評価実施要領について 6. 外部評価施策の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・評価施策の概要説明 ・質問票について 7. その他
公開・非公開	全部公開
傍聴人数	0人

1. 開会あいさつ

事務局

出席者全員の着席並びに傍聴人の受付時間終了につき、定刻より早い開始とする旨、委員全員の同意を得た上で、平成28年度第1回阪南市外部評価委員会を開催する。

委員総数4名に対し4名出席のため、阪南市外部評価委員会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。

○福山市長あいさつ

委員の皆様には、公私共にご多用のところ、本市外部評価委員の就任をお引き受けいただき、そして、本日の外部評価委員会にご出席をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、本市では、平成24年3月に策定した阪南市総合計画に掲げる将来の都市像「ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、基本目標として、7つの分野を設定し、42の施策を展開している。

この総合計画の進行管理については、毎年度、PDCAサイクルを活用した見直しを行っているが、一昨年より、行政内部だけではなく、第三者による評価を行うことにより、新たな視点で施策を検証し見直しにつなげるため、外部評価制度を導入しているところである。

これまで、2カ年で延べ20の施策について検証いただき、本年度は、これまで外部評価委員会からいただいた評価結果を参考に、来年度から5か年の総合計画後期計画を策定しているところである。

外部評価委員会では、引き続き、第三者の視点で、行政内部では気づき難いようなところを、ご指摘いただくことを願います。

限られた時間の中ではあるが、色んな関連なご意見ご指摘を賜りますよう、心からお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2. 委員紹介

○事務局より委員の紹介

学識経験のある者として壬生委員、掛谷委員、市民として奥野委員、高橋委員。

○事務局より市長及び事務局の紹介

市長及び事務局の紹介として福山市長、岩本参与（兼）総務部長、みらい戦略室

として、井上副理事（兼）室長、布施室長代理、高倉主幹、太田総括主事、新垣主事。

○事務局より資料の確認

各委員に資料の不足がないことを確認。

3. 外部評価委員会の委員長、副委員長の選出

○阪南市外部評価委員会条例第4条第2項の規定に基づき、委員からの推薦により、壬生委員が委員長に就任。（異議なし）

○阪南市外部評価委員会条例第4条第4項の規定に基づき、壬生委員長の指名により、掛谷委員が副委員長に就任。

○委員長あいさつ

阪南市に限らず、地域を取り巻く状況がとても厳しい中で、阪南市役所の職員は自分の仕事を一生懸命行っていると分かった上で、それでも市民目線、学識経験者として、もっとここをがんばっていただきたい点をしっかり指摘していきたいと思う。委員の皆様よろしく願います。事務局に対してもいろいろお願いをすることが多いと思うが、しっかり対応いただきたい。

4. 市長から委員会への諮問

○福山市長より壬生委員長へ諮問書の提出（諮問後市長退出）

事務局

議事進行ついて、条例第4条第3項の規定により、委員長に願います。

5. 外部評価実施要領について

事務局

資料1に基づき説明をする。

阪南市外部評価実施要領（案）について、実施要領の一部見直しをしている。

委員会の公開については、昨年度と同様に原則公開とし、評価に係る協議は非公

会 議 録

開とする。会議録については、原則公開とする。

昨年度、4段階評価では、評価が分かりにくいと言う指摘があったため、+-の区分を追加した。例えば、「★★」の評価の場合、「★」に近いのか「★★★★」に近いのかが分からないので、「★★-」「★★+」という判定もできるようにした。

委員長

事務局の説明にあった会議の一部非公開については、前回の勉強会で議論したとおり、今年度の外部評価委員会は、各施策のヒアリングは公開とし、その後の「判定区分」「判定理由」についての協議は非公開とする。なお、外部評価の結果については、会議録を市民に公開する。何か意見はあるか。

(異議なしの声)

では案件5の外部評価実施要領については事務局案のとおりとして、同要領に基づいて委員会を運営していくこととしたい。

6. 外部評価施策の選定

「評価施策の概要説明」

委員長

それでは、案件5の外部評価実施要領については、事務局（案）のとおりとし、本要領に基づいて、本委員会を運営することとする。

続いて、案件6の評価対象施策の選定について、市長より42の施策について外部評価を行うように諮問されたが、42の施策全てについて評価することは、限られた時間内では難しく、日程的にも非常に困難だと考える。

本日の委員会では、外部評価を実施する施策を10施策程度に絞り込み、第2回から第5回の委員会でヒアリングを行い、第6回の委員会で評価結果をとりまとめのうえ、市長に答申することとしたい。これについて意見はないか。

(異議なしの声)

委員長

それでは、事務局より概要の説明をお願いします。

事務局

評価対象候補となる施策について説明。

施策の選定については、資料3の平成28年度 外部評価対象選定方針（案）の対象施策を選定する際の留意事項にあるように、（1）対象施策が特定の分野に偏ることが無いようにすることや、（2）施策の主担当課に偏りが生じないようにすることに留意して、選定をお願いします。

委員長

事務局の説明についての質疑はあるか。

（質疑なし）

（委員の意見交換）

委員長

各章から1施策以上ということであれば、例えば、1章は、過去に評価していない「102. 市民協働ネットワーク化の促進」はどうか。

委員

各章から1施策選ぶというのは理解できる。ただ、枠内で1つ決めたらいいのか、代表を1つなら理解ができるが、①国の重要施策、②トレンド、③市の特性（市として外せない）、この3つの柱に施策を引っ付けていく方がいいのではないかと考える。

2年間とりあげてない施策も3つの柱に合致したら、対象施策にしたらいいのではないかと思う。

委員長

章ごとに決めるのではなく、フラットにどれがいいという話をしていきたい。

委員

事前の勉強会で話があったように、協働は、各自治体の独自性を発揮していくうえで重要。102. 市民協働ネットワーク化の促進は残る。205. 子育て支援の充実、301. 地域防災の推進は、市民の関心が高く外せない。406. 生涯スポーツの振興は、健康寿命を高めるという意味で外せない。5章は、観光か農業になるが阪南市としてはやはり観光で厳しい財政を補完していかなければならない。503. 農業の振興は、国策の中で独自産業として内閣府が力入れている。観光か農業どちらかをいれたらよい。この市の特徴として自然との共生。自然という武器をどんどん前面に出すことが必要。転入

会 議 録

や観光客の集客ができる、601. 自然と共生するまちづくりの方が 607. 都市基盤の維持管理よりも外せないと考える。7 章は絶対にはずせない人材育成、703. 健全な財政運営も外せない。

委員

その考え方でよい。+αがいると思うが、委員長と副委員長が決めていただいた方がうまくまとまると考える。

委員

301. 地域防災の推進とか重要なものを選ぶというのは前向きに捉えたいが、ぜひ今までしてない施策をやっていきたい。外すのは、主担当課が同じなので、ばらけさせるのであれば6章はどちらかと考える。5章については、503. 農業の振興の方が 501. 観光の振興よりもヒアリングをしてみたいが、個人的意見で絶対ではない。

委員長

それはなぜか、今まで農林水産課を対象としていなかったからか。

委員

農林は対象にしていなかったからというのは頭のどこかにあった。農業というのは色々と問題が起こっている中で取り上げてもいいと考えた。

委員長

607. 都市基盤の維持管理は、公共施設総合管理計画の進捗管理が必要。古くなった橋梁や、道路をどのように長寿命化するのは大事。災害が起こってしまった時に、橋が落ちてしまった、道路が使えなくなってしまったとかや、熊本地震でクローズアップされていたこともある。すぐ対策できるかは別にしても、内部から進捗状況を確認し指摘することは重要であると考える。

今までの各委員の意見を総合させると都市基盤が10施策に入っているのでそれでいくのか。

今まであたっていない施策で考えると、生活環境の下水については、指摘して改善していくというのは厳しい分野だと認識している。外部評価委員会で議論した内容が、実際の施策展開に反映しやすいものであった方がいいと思うので、下水は外してもよいかと考える。また、健康保険と生活保護も同様。

委員

今年度含め、3年間対象となっていない施策がある。3年ヒアリングがない課があ

会 議 録

るといふことで課のモチベーションを考えたときに、バランスも大事だといふ議論になってしまう。中身を取るのかバランスや組織風土の意識改革等いろいろあると思うが、モチベーションはキーワードなので3年連続、あたらない課を出すのはどうかと考える。その辺りを少し考えながら選定したい。

事務局

601. 自然と共生するまちづくりと 607. 都市基盤の維持管理は、主担当課がどちらも土木管理室となっているので、できたらどちらかといふ提案をしたい。

委員長

その場合もう1つ選ばないといけないといふことか。

今まで同じ課で2つやっていたことはなかったのか。

事務局

なかったが、がんばっていただいてもいいのではないか。

委員

それはこの2年取り上げていない課なので、そういった意味合いで選出し、残るは落とす施策とのバランスである。

委員長

今回は調整をしていただいて、がんばってもらうといふことでお願いしたい。

事務局

ヒアリングは2施策の日と、3施策の日が2日間ある。来週は事前の勉強会で提案のあった301. 地域防災の推進と702. 人材育成の強化をすることが決まっているが、今回選んでいただいた施策について、2施策の日を実施する施策を調整していただきたい。

委員長

10施策のうち、301. 地域防災の推進と702. 人材育成の強化については、来週ヒアリングするが、残りの施策のうち時間をかけて議論したいといふものがあればご意見をいただきたい。

委員

時間をかけない施策といふのは先程からのお話では、503. 農業の振興ではないか。

会 議 録

503. 農業の振興は、3施策の日に実施すれば良いかと考える。

委員

205. 子育て支援の充実については時間をかけてヒアリングしたい。

委員

時間のことを考えると事務局からの提案を受けてということで良いのではないか。

委員長

事務局の方で考えていることはあるか。

事務局

事前の勉強会で話があったように、205. 子育て支援の充実と 703. 健全な財政運営が皆さんの興味があると考えます。

委員

個人的には 703. 健全な財政運営は、過去に実施したこともあり、外部評価委員会の中では、突っ込んで話すことはそれほどないと考えます。よって時間をかけずにできると考えていた。

委員長

501. 観光の振興は、時間がかかるのではないかと。

委員

限られた時間なので、3施策というのはもともとタイトな日程であった。事務局の方で、時間内に収まるのではないかとという見解があると思うので、委員長と相談して決めてはどうか。

委員長

それでは事務局と相談して決めたいと思う。

1つだけ確認しないといけないのが、外部評価の対象はあくまでも平成27年度の施策である。こども館の話は、関係してくると思うが、メインにならないと言うことをこの場でもう一度確認しておきたい。

また、私からの提案であるが、301. 地域防災の推進は一昨年、昨年と同じことを提案してきた。自主防災組織率が劇的に改善していくわけではないことは重々承知である上で、各委員から意見があったが、今年度、今まで議論してこなかった新しい視

会 議 録

点、熊本の地震でも問題点が挙がってきていると思うので、そちらの方に重点を置いた質問をしていけると担当課も話をしやすくなると考えている。

委員

平成27年度の検証であるので、平成25、26年度の流れと一緒に。

それを外すと次のステップでもっと難しくなる。BCPをやっていないのなら、どういう方向性でどれくらいの期間で作成する予定か。備蓄はどれだけあり、どのくらいの量か。これは検証になるが28年度が主になると脱線する。角度を変えてヒアリングをし、ヒアリングをする中で28年度のやり方を引き出す。ちょっと間違えると今後どうなのかということになるので慎重に考えてヒアリングをしないといけない。

(選定施策確定)

委員長

それでは、10施策については、

- 102. 市民協働ネットワーク化の促進
- 205. 子育て支援の充実
- 301. 地域防災の推進
- 406. 生涯スポーツの振興
- 501. 観光の振興
- 503. 農業の振興
- 601. 自然と共生するまちづくり
- 607. 都市基盤の維持管理
- 702. 人材育成の強化
- 703. 健全な財政運営 とする。

日程調整を事務局にお願いしたい。また、出来れば 205. 子育て支援の充実はヒアリングの時間を長めにできるように調整していただきたい。もう1施策については、事務局と調整する。

「質問票について」

委員長

続いて、質問票の配布であるが、施策についての質問については、限られたヒアリング時間を有効に使い、内容をより濃いものにするため、事前に質問票を作成し、ヒアリングの準備をしたい。

事務局

質問票を提出いただいたら当方でまとめ、委員長に報告させていただく。

委員長

質問の内容が委員間で重複してしまうことがあれば、当日のヒアリングが始まる直前に、質問者を割り振るのでご協力をお願いしたい。

前半は担当と質問のやり取りをし、後半はどういう問題点があったかなど判定をする。

判定には理由が必要なので、準備してほしい。

7. その他

○委員長

続いて、案件7の「その他」であるが、事務局から何かあるか。

○「施策シートの見方について」(資料5)

- ・ 施策シートについては、①施策概要、施策の平成27年度の取組み方針、内部評価として行政内部での評価ということで施策評価、④内部評価ということで指標の分析ということで各成果指標の進捗状況特に前年度からの増減理由などを記載している。そして施策シートの一番下のところには、内部評価で施策の達成状況、課題や問題点、施策の目指す姿や総合計画に記載されている市役所の役割に対する施策の達成状況、施策を進めていく上での課題や問題点、昨年度できなかったことを記載している。

(2/4 ページ目)

- ・ 内部評価ということで内部評価の結果を記載している。施策の指標の分析、課題や問題点を踏まえて、施策の現状が施策のめざす姿をどの程度実現されているのか4つの区分で判定している。その下が外部評価ということで外部評価委員の皆様が評価結果、委員の提言を記載する欄である。
- ・ その下は総合評価ということで外部評価に選定された施策については外部と内部の評価の総取りまとめ、総合的な評価ということで市の最終的な評価を記載する欄であり、現時点では空欄となっている。
- ・ ⑨実施計画は参考ということで平成28年度の行政経営計画に載っている今年度施策としてどのようなことをするのかを記載している欄、一番下の平成29年度取組み方

針については評価終了後に記載する欄となっている

- ・施策を構成する事務事業の情報が載っている。施策には複数の事務事業がぶら下がっているため、事務事業の名称、担当課名、施策に寄与する寄与度、内容、各事務事業の目標達成状況を記載している。
- ・平成29年度取組み方針を記入する欄については、評価終了後に記載する内容となっている。
- ・一番下のところには参考で平成27年度以降実施する事務事業が記載されている。
- ・平成27年度には事業は実施されていないが、今年度に事業を実施する事業について記載している。

(3, 4/4 ページ目)

- ・施策を構成する事務事業の情報として、事業費を記載している欄。
- ・シートの左側が事業費、右側が人件費で平成27年度の決算見込み、また、平成28年度の当初予算を記載している。平成29年度以降空欄、評価終了後記載する。

「事務事業シートの見方について」

- ・事務事業シートについては各施策シートにぶら下がるシートで事業の詳細を記載している。
- ・⑮基本情報には、基本計画にかかる基本目標、基本計画の番号、事務事業を所管する担当課名、及び担当者名、を記載している。
- ・施策の目指す姿やその事業が施策の目指す姿にどの程度寄与するのか寄与度を記載している。
- ・⑯事業情報では、事務事業が法律に基づいた義務的事業などかを把握する、「法定」、「法定以外」などの区分、根拠法令、関連計画の有無、またその名称、事業の目的、事業の概要、受益者負担の有無、民間活用の有無、現状と比較した市民のニーズを記載している。
- ・⑰及び⑱事務事業実績では、行政経営計画に記載されている、平成27年度の事務事業の取組み方針を記載しており、また、取組み方針等の達成状況ということで事業の達成状況についてA：達成できた、B：概ね達成できた、C：達成できなかった3つの区分で整理し、理由を記載している。
- ・事業推進上の課題や問題点を目標達成状況を踏まえ、整理している。
- ・資料右側の平成28年度の取組み方針については、参考情報として、今年度事業としてどのようなことを取り組むかを記載したもの。

(2/2 ページ目)

- ・⑳事業内容の27年度内容は決算見込み、28年度は予定、29年度以降については、評価終了後に追記する。
- ・㉑コストは事業費や人件費を記載している。
- ・㉒指標では、活動指標や成果指標として事務事業の指標の記載をしている。27年度までの実績、28年度は目標値、29年度以降についてである。

○「評価の実施方法(案)(平成28年度 外部評価委員会資料)について」(資料6)

「1. 外部評価を行う上での留意事項」

- ・外部評価の目的を掲載。評価の対象となるのは指標の分析、施策の達成状況、課題や問題点、内部評価結果の3項目である。
- ・外部評価の目的は内部評価を検証し、審議する。外部評価を適正に実施されていることを検証していただきたい。総合計画の実行性を高めるため、外部評価の結果を踏まえて総合計画及び行政評価制度について、意見・提言することは可能。昨年同様、これまでの経験を踏まえ様々な視点からご提言いただけたらと思う。

「2. 施策シートの検証順序」、「3. 施策シートの検証方法」について

- ・施策シート検証する際にチェックしていただくべき事項を整理している。検証の順序は、「指標の分析」⇒「施策の達成状況・課題や問題点」⇒「内部評価結果」の順に検証する。

(1)「指標の分析」について(下記の①②に係る指摘事項は、総合計画(後期基本計画)を策定する際に活用する。)

- ①施策の現状を把握できる指標が設定されているか。
- ②目標が適正に設定されているか。
- ③実績が目標どおり進捗しているか。
- ④指標の進捗状況(前年度からの増減理由など)が適切に分析されているか。

(2)「施策の達成状況・課題や問題点」について

- ①施策の達成状況(できたこと)が、把握できているか。
- ②施策を進めるうえでの課題・問題点(できなかったこと)が把握できているか。

(3) 「内部評価結果」について

- ① 「指標の分析」と「施策の達成状況・課題や問題点」に基づき、施策の現状を適正に評価できているか。
- ② 施策に掲げる「市役所の役割」を果たしているか。

・シートチェックするにあたり、さらに詳しい説明が必要と感じられた場合、可能な限り質問票に記入をお願いします。

「4. 「判定理由」の記載事項及び記載内容について」

(1) 記載事項について

①指標の分析について②施策の達成状況・課題や問題点について③内部評価結果について④提案・指摘事項を記載することとなっている。

(2) 記載内容について

施策の担当部局が昨年度実施してきたことに対する評価として①～③、提案や提言そして指摘事項などといった今後のことを④に、2つに分けられている。

昨年度の評価に加えて委員のみなさんから提案や提言指摘事項をいただくことで来年度の施策の見直しに向け、各担当課の取組みを促進することができると思う。

最後に昨年度と同じく、評価の実施方法として提案しているが、本日の時点で当資料の可否を決定するのは困難だと考える。ヒアリングを実施する2～5回の委員会では、当案を参考資料として活用していただきヒアリングの結果を踏まえ、評価の取りまとめを行う第6回の委員会の冒頭にて当資料の可否を決定していただきたい。

壬生委員長

今の説明に質問はないか。

当日は、担当課に対し質問票をもとに質問する。終了後、非公開でヒアリングした施策についてどう判定していくか、どういう問題があったかという事を議論する。資料4の一覧では、内部評価の判定区分として★がついているが、評価委員会で★の数はこのままでいいのかを議論する。

当然下げるだけではなくて、担当課の自己評価が辛すぎるということであれば、判定をあげることも可能。ただし、判定を付けるにあたっては理由が必要である。委員の一人ひとりの意見をきいた上で委員会として判定するので、それを理解した上で準

会 議 録

備をしていただきたい。

事務局

「次回第2回外部評価委員会は、6月27日（月曜日）18時30分より本庁3階の全員協議会室で行う。

壬生委員長

以上で本日の案件は全て終了した。

これをもって、第1回阪南市外部評価委員会を閉会する。

（閉会）